

平成23年度内閣府本府政策評価書(事後評価)

(内閣府23-73(政策16-施策①))

施策名	迎賓施設の適切な運営〔政策16. 迎賓施設の適切な運営〕				
施策の概要	日本の外交に資するため、迎賓施設において、海外の賓客に対し接遇を行うとともに、賓客が満足できる安全・快適な施設の提供など、円滑な接遇を行うための迎賓施設の運営を行う。				
達成すべき目標	迎賓施設において、海外の賓客に対し接遇を行い、日本の外交に資するものとする。				
施策の予算額・執行額等	区分	21年度	22年度	23年度	24年度
	予算の状況(千円)				
	当初予算(a)	853,411	901,213	887,000	835,664
	補正予算(b)	0	0	0	0
	繰越し等(c)	0	0	0	0
合計(a+b+c)	853,411	901,213	887,000		
執行額(千円)	827,090	849,745	830,667		
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	特になし				

測定指標	迎賓館事務連絡会議の開催数(8月を除く毎月開催)	基準値	実績値					目標値
		20年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	—
		11回	—	11回	11回	11回	11回	—
	年度ごとの目標値		—	毎月開催	毎月開催	毎月開催	毎月開催	
	利用(接遇)実績	基準値	実績値					目標値
		21年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	—
		18回	—	15回	18回	19回	16回 赤坂6回、京都10回	—
	年度ごとの目標値		—	10回	18回	18回	年18回 赤坂8回、京都10回	
	赤坂迎賓館一般参観者数	基準値	実績値					目標値
		21年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	—
		20,000人	—	—	18,605人	20,000人	20,000人	—
	年度ごとの目標値		—	—	20,000人	20,000人	20,000人	
	京都迎賓館一般参観者数	基準値	実績値					目標値
		20年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	—
		10,000人	—	10,000人	12,000人	12,000人	12,000人	—
	年度ごとの目標値		—	10,000人	12,000人	12,000人	12,000人	
	前庭公開入場者数	基準値	実績値					目標値
		23年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	—
		10,000人	—	—	—	—	2,980人	—
	年度ごとの目標値		—	—	—	—	10,000人	
一般参観者及び前庭公開入場者へのアンケート実施による肯定的評価(「満足した」、「ある程度満足した」の合計割合)	基準値	実績値					目標値	
	20年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	—	
	80%以上	—	87%以上	87%以上	92%以上	92%以上	—	
年度ごとの目標値		—	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上		
賓客の安全対策に対応する適切な警備と秩序維持		施策の進捗状況(実績)					目標	
		確実に実施					—	

<p>施策に関する評価結果</p>	<p>目標の達成状況</p>	<p>接客実績については、目標回数を円滑かつ安全に実施するとともに、賓客からは接客に対する感謝の意が表されており、高い評価をいただいているものと考えられ、賓客に満足してもらい我が国の外交に資する有効な施策の実施を行うことができた。また、一般参観(赤坂、京都)及び前庭公開(赤坂)において92%を超える方に満足いただける結果となっており、迎賓施設に対する国民の理解を深めることができた。</p>
	<p>目標期間終了時点の総括</p>	<p>【目標の達成状況の検証】 迎賓館事務連絡会議を毎月(8月を除く)開催した。 接客については、震災の影響で受入が16回(赤坂6回、京都10回)と計画の目標値を下回った。しかしながら、賓客の安全対策に対応した適切な警備を確実に実施し、いずれの接客においても感謝の意を表されるなど高い評価をいただいていると考えられ、賓客の満足を得ることができたことから目標の成果を達成できたと評価した。 一般参観については、適切な実施により目標値である32,000人(赤坂20,000人、京都12,000人)の参観者を得た。なお、前庭公開(赤坂)については、震災による電力節電の必要性から、電力の掛からない前庭公開を毎年夏期に行っている一般参観と入れ替えて9月に実施したが、期間中は真夏日(平均32度)であったことから2,980人の入場者であった。しかしながら、一般参観者(赤坂、京都)及び前庭入場者(赤坂)へのアンケートにおいて92%以上の方が満足したとの回答を得た。 【行政事業レビュー等での指摘等】 行政事業レビューにおいて、参観の運営方法等を見直し、コスト削減に努めるべきとの指摘。 【今後の方向性】 迎賓館の利活用について、引き続き促進に努める。また、迎賓施設の役割について、国民の理解を深めるため、一般参観及び前庭公開の充実に努める。なお、行政事業レビューでの指摘については、24年度の参観実施状況を踏まえ、参観の運営方法等を点検し、コスト削減方法を検討することとした。</p>

<p>学識経験を有する者の知見の活用</p>	<p>京都迎賓館では、学識経験者、伝統文化関係者等を構成員とする「京都迎賓館運営懇談会」を設けており、運営全般について意見を聞いている。平成23年2月に開催した懇談会においては、「せっかく庭園に灯籠があるので、賓客滞在中は灯りをとめて、日本庭園の幽玄な趣をお楽しみいただけたらどうか。」等の意見が出されたが、平成23年度の接客時には、LEDの簡易照明器具を灯籠に入れ、夜間の庭の趣を賓客に感じていただけるようにする等、その意見を反映したところ。</p>
------------------------	--

<p>政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報</p>	<p>一般参観及び前庭公開の満足度:アンケートの回答。</p>
----------------------------------	---------------------------------

<p>担当部局名</p>	<p>迎賓館、大臣官房企画調整課国際室</p>	<p>作成責任者名</p>	<p>庶務課長 廣田 裕一郎</p>	<p>政策評価実施時期</p>	<p>平成24年8月</p>
--------------	-------------------------	---------------	------------------------	-----------------	----------------